

## STOP THE WAR! ウクライナ危機支援金チャリティー

### 2022 I.K.O.N.極真会館東日本空手道選手権大会 第18回武魂杯(大会報告、御礼)

(第1回全日本シニアマスターズ) 10月23日 ~横浜武道館メインアリーナ~

I. K. O. N. 極真会館中村道場 中村誠総帥から贈呈された2段スタンド立ての超豪華な生花が、世界全極真志優会の62人、野地道場の51人を筆頭とした約40の団体、支部、道場からの430人の選手とそのセコンドと応援団、観客を迎えました。

開会式、大会名誉会長衆議院議員(元復興大臣) 田中和徳様、大会顧問川崎市議会議員 松原成文様のご挨拶、特別来賓総合格闘家、第12回極真空手世界チャンピオン、上田幹雄様のご挨拶を頂き、出場選手の気迫が満ち溢れて来ました。

開会式には、午前の部チャレンジマッチと型試合の3位以上入賞選手もメインコートに整列し、上級優勝選手 高校一般混合 I. K. O. N. 極真会館横浜川崎支部**成田武陽**、中学生男女混合 世界全極真志優会**八木祥平**、小学2年・4年混合 I. K. O. N. 極真会館中村道場泉州北支部**赤松広唯**の3人組と、一般壮年女子混合**廣田友里** 壮年男子**高比良 剛**、小学5年、6年男女混合**佐藤愛理**の3人組(なんとこの3人は**全て極真会館佐藤道場!**)が決勝優勝型『**征遠鎮**』を披露!

また、本大会の STOP THE WAR! ウクライナ危機支援金チャリティーをテーマとした募金活動は**上田幹雄様**のチャリティーサイン会もあり充実しました。

午後の部はトライマッチ、東日本選手権武魂杯争奪戦、全日本シニアマスターズと組手試合が展開されました。

全部の試合を見る事はできませんでしたが、見れた試合の中でインパクトの強かった闘いを紹介します。

#### 【東日本選手権武魂杯争奪戦】

一般女子無差別は、フルコンタクト空手部名門淑徳巣鴨高校の参加もあり、ハイレベルな試合展開! 大崎芳樹代表が熱い眼を向ける淑徳巣鴨同門決勝**松田理央** VS **高橋向日葵**戦は互いの技量を知り尽くした仲でも、**最大の力を出し尽くす二人の勇士に見応えあり!** 優勝は**松田理央**選手!

一般男子軽量級 I.K.O.N.極真会館中村道場館尼崎支部 **藤原隆寛**(成田道場出身)VS 世界総極真志優会 **近藤勇樹**の決勝戦! 闘志溢れる突進ファイトの**藤原**選手に、**近藤**選手はクールな表情ながらも、鋭い突き、蹴りを、効かせる! 後半踏ん張る**藤原**選手の怒涛のラッシュにも怯まず、**拳、蹴りを繰り出す! 強い! 鋭利な武器を想わせる近藤勇樹選手優勝!**

一般男子重量級には、I.K.O.N.極真会館中村道場から、北六甲支部 師範 **中村修志**、芦屋・神戸支部 師範**池本理**が参戦!

朝、**中村修志**師範と挨拶を交わす、年4回の I.K.O.N.極真会館中村道場主催大会で毎回会う温厚な表情の**中村修志**師範とは全く別人の**修志**師範! 緊張感溢れる雰囲気! 試合でもそのオーラが醸し出す闘いに「**侍!**」を感じました!

そして、決勝戦は少年部国際チャンピオン、全日本チャンピオン、全日本ウエイト戦高3デビューで重量

級3位の実績を持つ、I.K.O.N.極真会館横浜川崎支部**大江壮大**！対するは第21回全日本ウエイト制中量級準優勝、第9回全世界空手道選手権大会日本代表を筆頭に数々の大会優勝、上位入賞の実績！**池本理**！

2人とも久々の試合！超ベテランの**池本選手**、試合は久々でも支部長師範！日々稽古生に胸を貸し組手稽古は継続してきたはず、**大江選手**は空手から離れて数年、稽古自体ブランク数年、しかし青少年部時代の豊富な試合経験と組手センスでどう勝負するか？

**池本選手**のガッツ丸出しの闘志漲るファイトは記憶にあるが、今、今日、どんな闘いを魅せてくれるのか？そして、この日、初戦から、見せたのはなんと『**えがお**！』『**笑顔**！』楽しそうに**(笑)**で闘い続ける**池本師範**！ムエタイみたいなあの笑顔！？に対し想うように攻めきれない**大江選手**！

延長戦、これまで、匠な技で、効かせる下段！効かせる突き！が、なんと、**横に回り、廻って突く、廻って叩く**！は**池本選手**！捕まえない！廻る**池本選手**に、**膝蹴りを打ち込む大江選手**、有効にも見えたが、最後まで**笑顔の中でも強烈な拳を打ち込む池本選手**！3対2軍配は**池本選手**！御魅事優勝！

## 【全日本シニアマスターズ】

『**素手、ヘッドガード無し、本戦3分、延長2分決着の新ルール**！』

**60歳以上男子無差別マスターズ**は3人総当たり戦、一勝ずつで勝てば優勝の決勝対決、I.K.O.N.極真会館湘南支部長**秋山弘一** vs 小平空手研究会東大和道場**石井喜一** **本大会最高年齢のカテゴリー**！

気迫、気合い全開で突進した**秋山選手**対し、**石井選手**は池本選手程ではないですが、少しニヤッとした顔に見えたのは、私だけか？ **とにかく余裕ある組手を魅せます。**

60歳以上のシニアの試合にこの試合時間ルールは過酷かと思いましたが、**石井選手**の組手は5分でも10分でも、30分でも、組手を続けられる！と見ました！**熟練の組手**！優勝おめでとうございます！

48歳～51歳重量級シニアは**大会出まくり、優勝しまくっている高橋道場高橋和久**が、やはり断トツの強さを魅せ決勝進出！**100kgが翔ぶ！胴廻し回転蹴り**！が、**打たれ強い男**！I.K.O.N.極真会館横浜川崎支部兼弘彰は**超ヒットされても倒れない**！が、**技有り**！前半はインローで善戦した**兼弘選手**でしたが、最後の最後、**高橋選手**の**左上段廻し蹴り**で倒され一本！**驚愕の優勝劇**！

軽量級は昨年武魂杯シニアで優勝した、I.K.O.N.極真会館中村道場中山台支部 師範 **川阪真一**がシニアとは思えない試合展開！準決勝、**踵落とし！アタル！あたる！頭、蹴る!!技有り!!** 決勝戦、まだまだ、**上段蹴る!!蹴りまくる!!川阪師範**！一般部ですかー!?**頭に踵落とし！顔に前蹴り!!やり過ぎ!!**最後、**上段後ろ廻し蹴り**！で締め!!の**1本での優勝**！

全日本シニアマスターズ重量級優勝の**高橋選手**と、軽量級優勝の**川阪選手**、**M.V.P 選出**大いに悩みましたが、昨年の武魂杯、壮年部武魂杯争奪戦優勝を考慮させて頂き、**高橋和久選手**には大変申し訳ないですが、**川阪真一選手** **全日本シニアマスターズ最優秀選手賞 M.V.P(賞金15万)決定となりました**！

**高橋和久選手**の**最恐技!!**にも**本当に感動**しました!!参戦ありがとうございました！

最後に大会役員、多くの協賛各社、参加団体、道場、代表、師範、審判先生、参加選手、選手家族関係者、I. K. O. N. 極真会館横浜川崎支部運営スタッフ、皆様に第18回武魂杯を『**大成功**！』に導いて頂きましたこと、心より感謝申し上げます。 押忍！

I. K. O. N. 極真会館東日本 本部長 成田武治